

中学部第3学年外国語科学習指導案

日 時 令和2年11月6日(金)

10:10~11:00

指導者 教諭 園田 泰代

1 単元名 「Unit 6 Striving for a Better World」(東京書籍 第3学年)

2 単元について

(1) ねらいについて

本単元は、世界平和に貢献したノーベル平和賞受賞者たち、その中でもアウンサンスーチー氏の半生を紹介するものである。アウンサンスーチー氏の演説やニュースなどの読解の機会を設けるとともに、アウンサンスーチー氏や彼女をとりまく状況について認識し、それらに対する自分の考えを友達と共有することで、世界に視野を広げられるようにしたい。

言語材料は、名詞を詳しく説明する関係代名詞である。関係代名詞を学習するにあたって、主格と目的格の基本的用法を理解するために日本語での意味理解も丁寧に取り組みたい。また、身近な人物や持ち物についてのやりとりの練習を重ねて語順の定着を図りたい。

(2) 系統について

生徒は第2学年時に that 節などが導く「名詞節」、if / when / because 等が導く「副詞節」を学習しており、本単元では「形容詞節」となる関係詞節を扱う。また、後置修飾という観点からでは、後ろから名詞を修飾する形は第1学年から触れている。第1学年では、前置詞+名詞の形をとる前置詞句が前の名詞を修飾する形、第2学年では、形容詞的用法の to 不定詞、第3学年では、現在分詞の句や過去分詞の句が後ろから名詞を修飾する形を学習してきた。既習の文法事項と関連付けて考えることで、関係代名詞の働きを習得しやすくなると考える。

(3) 生徒の実態

本学級は、女子3名の学級であり、全員補聴器や人工内耳を装着している。主なコミュニケーション手段は手話と口話であり、やりとりを楽しみながら他者とのコミュニケーションを図る様子が見られる。

学習面では、授業態度も良好で、教師の話に熱心に耳を傾け、学習内容を理解しようとする姿が見られる。3人とも英語の基本的な文法は理解しているが、時制や動詞の変化など定着していないことも多いため、適時支援が必要である。授業での会話練習で自分の意見を英語で伝えようとする意欲の高まりも見られる。

(4) 指導上の留意点

本単元では、関係代名詞の英文を理解しながら、アウンサンスーチー氏の半生に関するインターネットの記事を読み進める。文法は、既習の文法事項と関連付けて考え、身近な人物や持ち物について口話やタブレット端末を使ってやりとりする場を設定し、言語活動を通して定着できるようにする。本文で関係代名詞がどのように使われているか、またその英文がどのような意味になるかを考えながら、内容読解できるようにしたい。内容読解と関連して、アウンサンスーチー氏的心情を想像したり、自分の考えをまとめたりして、友達と共有する表現活動に取り組む。友達と意見を共有することで、様々な考えや英語表現を知る機会となるようにする。

I C T機器を使用して、授業を進める。自分の考えを表現する際には、インターネット等を利用してよいこととし、表現の幅を広げられるようにする。また、発表する際はタブレット端末を使用し、聴覚障害のある生徒同士で意見を共有することができるようにする。リスニングは、テロップを作成し、読み取りの活動に替える。

3 単元の目標

- ・ 関係代名詞(who, that, which)の意味・用法を理解し、教科書の内容や相手の伝えたい内容を読み取ったり、関係代名詞を使って人やものについて説明したりすることができる。
- ・ ミャンマーやアウンサンスーチー氏について考え、自分の意見を英語で表現したり、友達と意見を共有したりすることができる。

4 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと(読み取ること)	[知識] 関係代名詞などの意味・用法を理解している。 [技能] 関係代名詞などの理解を基に、言葉に詳しい情報を加えた文を読み取る技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ どのような人やものかを理解するために、言葉に加えられた情報や質問の内容を正確に読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ どのような人やものかを理解するために、言葉に加えられた情報や質問の内容を正確に読み取ろうとしている。
読むこと	[知識] 関係代名詞の意味・用法を理解している。 [技能] 関係代名詞の理解を基に、言葉に加えられた詳しい情報を読み取る技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ どのような人やものかを理解するために、言葉に加えられた詳しい情報を捉えている。 ・ 世界に目を向けるために、アウンサンスーチー氏についての文章の概要を捉えたり、時間軸に沿って説明したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ どのような人やものかを理解するために、言葉に加えられた詳しい情報を捉えようとしている。 ・ 世界に目を向けるために、アウンサンスーチー氏についての文章の概要を捉えたり、時間軸に沿って説明しようとしている。
話すこと(やりとり)	[知識] 関係代名詞の意味・用法を理解している。 [技能] 関係代名詞の理解をもとに、言葉に詳しい情報を加えて伝え合う技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ どのような人やものかを伝えるために、言葉に情報を加えて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ どのような人やものかを伝えるために、言葉に情報を加えて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。
話すこと(発表)	[知識] 関係代名詞などの意味・用法を理解している。 [技能] 関係代名詞などの理解を基に、言葉に詳しい情報を加えて話す技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えや持ち物を紹介するために、それについての詳しい情報を整理して加え、書いた原稿を基に発表したり、その内容について質問したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えや持ち物を紹介するために、それについての詳しい情報を整理して加え、書いた原稿を基に発表したり、その内容について質問しようとしている。
書くこと	[知識] 関係代名詞などの意味・用法を理解している。 [技能] 関係代名詞などの理解を基に、言葉に詳しい情報を加えて書く技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えや持ち物を紹介するために、それについての詳しい情報を整理して加え、書いてまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えや持ち物を紹介するために、それについての詳しい情報を整理して加え、書いてまとめようとしている。

※聞くことは読み取ることとして評価基準を設定した。

5 指導計画及び具体的な評価規準（7時間取扱い）

時	学習活動 ◇は文法事項	指導上の留意事項	具体的な評価規準・評価方法
1	part 1 人やものについて 詳しい情報を加えて 説明する。 ◇接触節（名詞を修 飾する文）	身近な体験を例 に、接触節による 後置修飾の英文の 部分を、強調・反 復し生徒に印象付 ける。	知 [知識] 名詞を修飾する文の意味・用法を理解している。 [技能] 名詞を修飾する文などの理解をもとに、言葉に詳しい情報を加えて説明する技能を身に付けている。 思 どのような人や物かを理解するために、言葉に加えられた情報をもとに要点を捉えている。 主 どのような人や物かを理解するために要点を捉えたり、言葉に情報を加えてどのような人かものかを説明したりしようとしている。
2	part 2 人について詳しい 情報を加えて説明す る。 ◇関係代名詞 who	関係代名詞を用 いたクイズに取り 組み、多くの英文 に触れるようにす る。	知 [知識] 関係代名詞 who を用いた文の意味・用法を理解している。 [技能] 関係代名詞 who などの理解をもとに、どのような人かを伝え合ったり、書いたりする技能を身に付けている。 思 どのような人かを伝えるために、言葉に情報を加えて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 主 どのような人かを伝えるために、言葉に情報を加えて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。
3 ・ 4 ・ 5 ・ 6	part 3, 4 【本時4／4】 アウンサンスーチーに関するインターネットの記事を読んで、その内容を理解し、自分の意見や考えを英語で表現する。 ◇関係代名詞 that, which (主格・目的格)	本文理解のため に、時代背景をイ ンターネット等で 調べる。 タブレット端末 を使用し、お互い の意見を共有す る。	知 [知識] 関係代名詞 that, which (主格・目的格) を用いた文の意味・用法を理解している。 [技能] 関係代名詞 that, which (主格・目的格) などの理解をもとに、言葉に詳しい情報を加えて説明する技能を身に付けている。 思 世界に目を向けるために、アウンサンスーチーの政治的側面と個人的側面について書かれた文章の概要を捉えたり、時間軸に沿って説明したりしている。 主 どのような人や物かを理解するために要点を捉えたり、言葉に情報を加えてどのような人か物かを説明したりしようとしている。
7	part 5 自分の持ち物につ いて詳しい情報を加 えながら説明する。	与えられたテー マに沿って英文を 考え、写真やイラ ストを用いて発表 する。 発表する時は英 文をモニターに表 示する。	思 自分の持ち物を紹介するために、そのものについての詳しい情報を整理して加え、書いた原稿をもとに発表したり、その内容について質問したりしている。 主 自分の持ち物を紹介するために、そのものについての詳しい情報を整理して加え、書いた原稿をもとに発表したり、その内容について質問したりしようとしている。

6 単元（題材）全体での ICT 活用と情報活用能力の育成

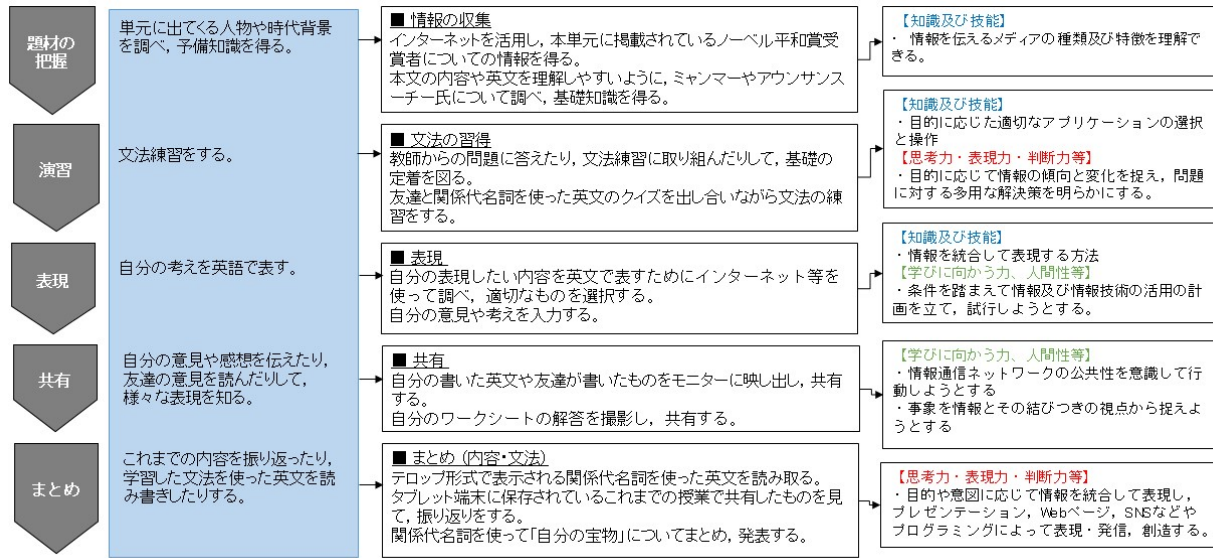
中学部 外国語

単元レベルでの問題解決・ICT活用と情報活用能力育成の位置付け

第3学年・外国語・Unit 6 Striving for a Better World

生徒のICT活用のポイント

情報活用能力



7 本時の展開（6／7時間）

(1) 目標

ア 全体目標

- 教科書の内容を理解し、アウンサンスーチー氏について自分の意見を英語で表現することができる。
- 友達の意見を読み、伝えたい内容を理解することができる。
- 自分の意見を英語で表現したり、友達の意見を理解しようとしたりすることができる。

イ 個人目標

生徒	個人目標
生徒 A	<ul style="list-style-type: none"> アウンサンスーチーの半生について、時間軸に沿って概要を説明することができる。 例文を参考に、アウンサンスーチー氏について、教師と確認しながら自分の意見を1文（6語程度）の英語で表現することができる。 自分の意見を英語で表現したり、友達の意見を理解しようとしたりすることができる。
生徒 B	<ul style="list-style-type: none"> アウンサンスーチーの半生について、時間軸に沿ってキーワードを使って説明することができる。 例文を参考に、アウンサンスーチー氏について、教師と確認しながら自分の意見を1文（6語程度）の英語で表現することができる。 自分の意見を英語で表現したり、友達の意見を理解しようとしたりすることができる。
生徒 C	<ul style="list-style-type: none"> アウンサンスーチーの半生について、時間軸に沿って詳細な説明をすることができる。 アウンサンスーチー氏について、自分の意見を2～3文（15語程度）の英語で表現することができる。 自分の意見を英語で表現したり、友達の意見を理解しようとしたりすることができる。

(2) 指導に当たって

本時は、単元のまとめの部分であり、アウンサンスーチー氏について自分の意見を表現する学習をする。表現活動に入る前に、これまでのアウンサンスーチー氏に関するインターネットの記事を理解しているか、時間軸に沿ってプリントにまとめる。

表現活動では、二つのテーマを用意した。一つ目は、アウンサンスーチー氏の夫が瀕死の状態だと知ったときの、アウンサンスーチー氏が夫へ掛けた言葉を想像することである。このことを想像することで、アウンサンスーチー氏の民主化運動に対する強い思いを理解できるようにする。英文を作る際は、インターネット等を参考にしてよいこととし、英作文に苦手意識がある生徒も意欲的に取り組めるようにする。

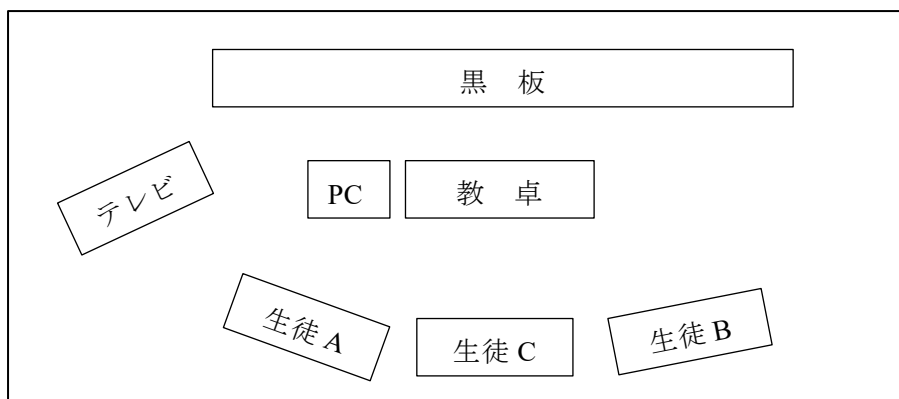
二つ目は、アウンサンスーチー氏について、自分の意見を英語で表現することである。教師が例文を示し、それを参考に自分の意見を既習の文法や単語を使って表現できるように導きたい。また、この活動に当たっては、生徒はタブレット端末で使用する、お互いの意見を共有する。

国外の情勢やアウンサンスーチー氏について考えたり、友達と意見を共有したりすることで、様々な考えや英語表現を理解しようとする態度を養いたい。

(3) 実際

過程	学習活動・◎主な発問	指導上の留意点・評価 ○留意点 ☆評価	□ICT活用 ◆情報活用能力
導入 15分	1 単語テストに取り組む。 2 英語で簡単なやりとりをする。 3 本時の学習内容を確認する。	○ 前回の自分の答案と見比べて、自分の苦手な単語に注目できるようにする。 ○ 教師の発言はモニターに表示し、生徒が理解しやすいようにする。 ○ 本時の学習目標と学習内容の流れを板書する。	□ 聞き取りが難しい生徒も理解できるようにする。
アウンサンスーチーさんについて、自分の意見を英語で表現する。			
展開 30分	4 本文について復習する。 5 アウンサンスーチー氏と夫とのやりとりを想像し、タブレットを使って英語でやりとりする。 6 アウンサンスーチー氏について、タブレット端末を使って自分の意見を英語で入力し共有する。 ◎ What do you think of Aung San Suu Kyi?	○ 内容を確認できるように、前時で使用した教材を黒板に貼る。 ☆ 時間軸に沿って説明することができる。 ○ 英文はインターネットを使って検索してもよいことを伝える。 ○ 書いた英文は撮影しモニターに表示し、共有する。 ○ タブレット端末に自分の意見を入力する。 ○ 教師が例文を提示する。 ☆ 自分の意見を英文にすることができる。 ○ 入力した内容は印刷して、後日配布することを伝える。	◆ 目的に応じた適切なアプリケーションの選択と操作 □ 聞き取りが難しい生徒も理解できるようにする。 □ 生徒同士で意見を共有することができるようにする。 □ 友達の見を書き取る時間をなくし、言語活動の時間を増やす。 ◆ 事象を情報とその結び付きの視点から捉えようとする。
終末 5分	7 本時の学習内容について振り返る。	○ 振り返りやすいように、生徒の意見をモニターに表示しておく。	

(4) 場の設定



(5) 評価

- ・ 教科書の内容を理解し、アウンサンスーチー氏について自分の意見を英語で表現することができたか。
- ・ 友達の意見を読み、伝えたい内容を理解することができたか。
- ・ 自分の意見を英語で表現したり、友達の意見を理解しようとしたりすることができたか。

(6) 個人評価

生徒A	<ul style="list-style-type: none">・ アウンサンスーチーの半生について、時間軸に沿って概要を説明することができたか。・ 例文を参考に、アウンサンスーチー氏について、教師と確認しながら自分の意見を1文（6語程度）の英語で表現することができたか。・ 自分の意見を英語で表現したり、友達の意見を理解しようとしたりすることができたか。
生徒B	<ul style="list-style-type: none">・ アウンサンスーチーの半生について、時間軸に沿ってキーワードを使って説明することができたか。・ 例文を参考に、アウンサンスーチー氏について、教師と確認しながら自分の意見を1文（6語程度）の英語で表現することができたか。・ 自分の意見を英語で表現したり、友達の意見を理解しようとしたりすることができたか。
生徒C	<ul style="list-style-type: none">・ アウンサンスーチーの半生について、時間軸に沿って詳細な説明をすることができたか。・ アウンサンスーチー氏について、自分の意見を2～3文（15語程度）の英語で表現することができたか。・ 自分の意見を英語で表現したり、友達の意見を理解しようとしたりすることができたか。